

タッチケアによる苦痛緩和効果

キーワード：タッチケア、コンフォート、自然治癒力

領域・氏名

[看護（老年看護学）](#) [准教授／](#) [緒方昭子](#)

概要

痛みや不安など身体・心理的苦痛のある患者さんに対して、自然治癒力を高めるために心地よいケアとしてタッチケアを実施し、その効果を緩和・安心・希望というコンフォートの視点で検証し、今後苦痛緩和ケアとして提供できるように取り組んでいます。

具体的な内容

看護学生や健康な成人の方を対象にタッチケアを実施し「気持ちいい」「温かい」などの効果を得、その後胸腔鏡下手術後の患者さんへの実施により、「痛みが和らぐ」などの心理的効果を得ました。腹腔鏡手術後の患者さんに対して行った比較介入研究では、不快な気持ちの減少効果が得られました。介入による身体面への効果は見られませんでした。安全性の効果として捉えることができました。これらの結果から、がんなど身体・心理面での苦痛の強い対象の方に対する、コンフォートケアとしての実施が可能と考えています。

information

高齢者施設や緩和ケア病棟でのコンフォートケアとして、また地域住民の方に対するタッチケアの実践により、心地よさと健康につながるケアとしての提供を考えています。